

T.N.Life

運送・輸送業、旅客・バス業務向け日報管理システム

# Drive Trace

(ドライブトレース)

日報入力から運送物・車両・ドライバー・売上・請求を一元管理

T.N.Life

デモンストレーション及びお問い合わせ



有限会社 ティー・エヌ・ライフシステムズ

〒745-0073 山口県周南市代々木通2-3 代々木公園前ビル3F  
TEL:0834・33・2777 FAX:0834・33・2771 E-mail:info@tnlife.jp

<http://www.tn-style.com/partner/>



OFFICIAL  
PARTNER  
SI

有限会社 ティー・エヌ・ライフシステムズはサイボウズ社のオフィシャル SI パートナーです。



# Drive Trace (ドライブトレース)の4つの強力な機能

運送業務日報からすべてを連動させる、輸送業・旅客業向けの売上管理、クラウド対応システム。世界標準のGPSとグローバルSIMを内蔵した日本初のGPSロガーと接続できます。日報(輸送業務)をデータ化し安心安全なクラウドで管理することで、情報が一元化され、売上管理、請求処理まで直結できスムーズな管理が可能です。

**機能 1 日報管理**



### 輸送内容の管理

日々の輸送業務をデータ化。日報の入力と実際の走行データを比較してのチェックも可能です。



### 車両管理・乗務員履歴管理

輸送時間や積み降ろしの時間、ドライバーの休憩時間など、乗務社員の安全を守るための報告書事項を抜群の操作性でサポート。時間のかかる日々の業務を軽減できます。



**機能 3 売上管理、請求処理へ直結**



### 日報のデータから売上管理への連動

積み荷や走行距離、重さなどの様々な輸送情報を商品として、伝票へ自動転記。売上として集計します。

### 売上から請求まで一元管理

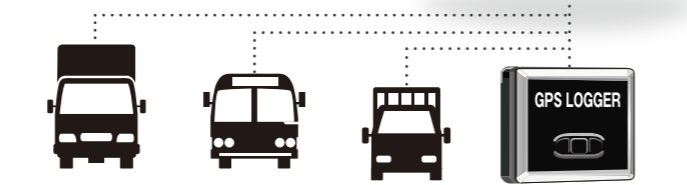
月末の集計や会社ごとの請求も、日々の日報をもとにリアルタイムに作成できます。さらに給与管理へも利用できます。

**機能 2 GPS ロガー対応**



### デジタルデータのダウンロード

低コストで日本初上陸のGPSロガー対応! 年間、GPS機器 ¥17,000。2年目以降更新・回線料合わせてもなんと年間 ¥6,000のみ!! (機器の保証代・保守料などは一切ありません)



**機能 4 グループウェア連動**



### 今お使いのグループウェアとの連携

緊急情報、積み荷の確認や次の場所への指示などがグループウェアを使い簡単に行えます。情報共有インフラの構築により社内全体の共通事項と日報の内容を同時に確認できます。



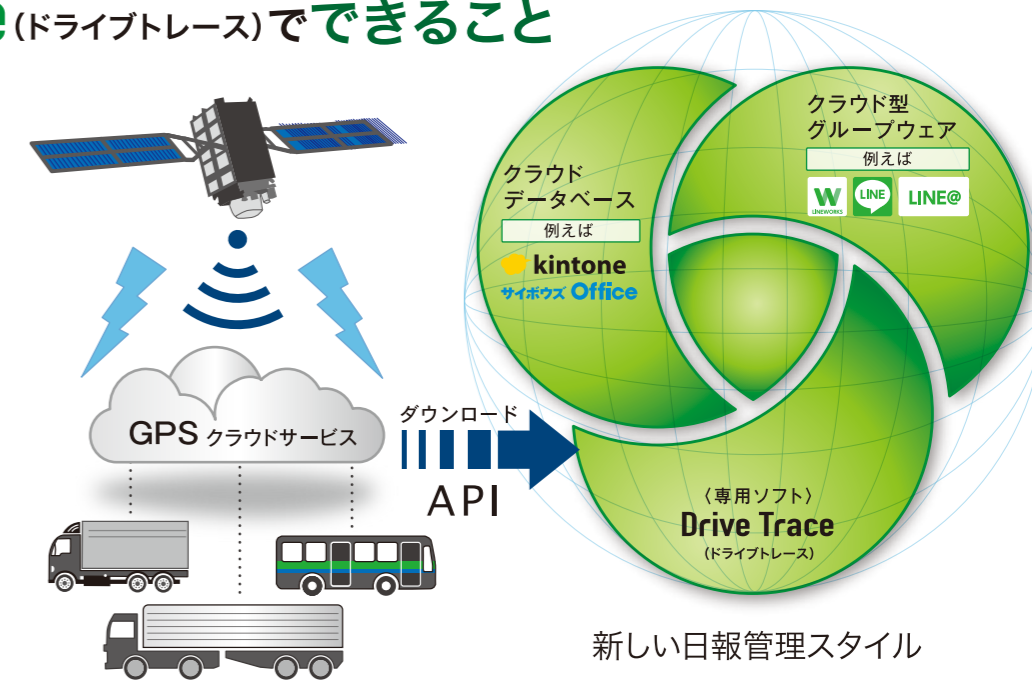
# Drive Trace (ドライブトレース)とは

運送業の日報入力と売上・請求管理を一元化した業務管理システムです。日報画面からドライバーや内務処理担当者がその日の荷受状況などを入力し、時間や場所、滞在時間、休憩時間などはすべて売上・労務データとして展開します。

**従来** 運送業界の管理システムはドライバーからの手書きの日報を元に距離や行先、積載物、輸送単位を書き出し、複数の帳票に転記を繰り返し、売上管理、請求管理へと複雑で時間がかかる業務を行っていました。

# Drive Trace (ドライブトレース)でできること

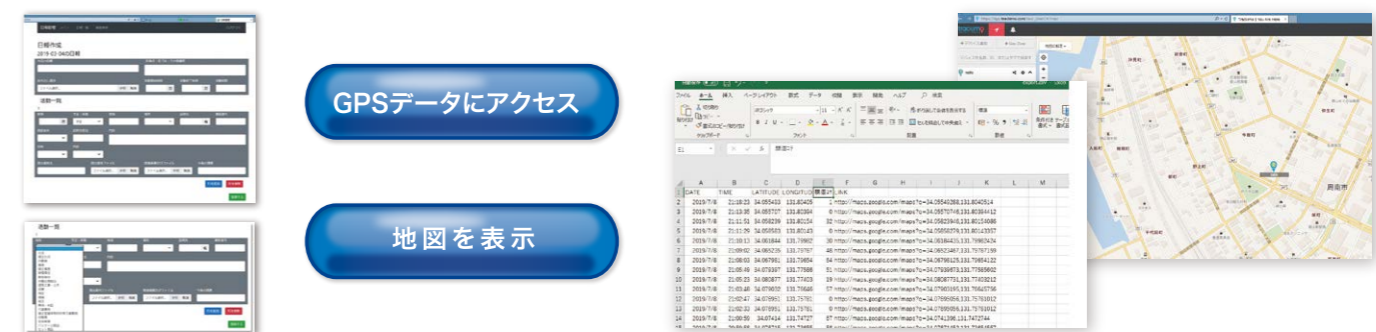
- 運送物の管理
- 荷主企業の顧客管理
- 売上管理
- 車両管理
- ドライバー管理
- 正味重量・絶乾重量対応
- GPSログダウンロード
- GPS情報取り込み
- 請求書発行
- 人件費管理
- 運行記録のデジタル化
- 法定保管資料の管理



新しい日報管理スタイル

※ GPS接続がなくても日報入力としてご利用いただけます。

## 日報を入力しながら運行データや地図にアクセス



## 改正貨物自動車運送事業法について

平成30年12月8日に、参議院本会議において、貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案が可決、成立しました。

経済活動・国民生活を支えるトラック運送業の健全な発達を図るため規制の適正化を図るほか、その業務について、平成36年度から時間外労働の限度時間が設定される(=働き方改革法施行)こと等を踏まえ、その担い手である運転者の不足により重要な社会インフラである物流が滞ってまうことのないよう、緊急に運転者の労働条件を改善する必要があること等鑑み、業界に適正化・健全化を促す効果が期待されています。

## ドライバーの安全と健康を守る仕組み

ドライバーの長時間労働の是正と適正取引構築のため、「貨物自動車運送事業安全規則」の一部が改正され、さらにその業務内容は可能な限り詳細に長期間データとして残す法律となっています。そのため企業としても膨大化する業務内容の保存方法を考え直す必要に迫られています。

## みちびき(準天頂衛星システム)とは、GPSを補い、より高精度で安定した衛星測位サービスを実現

GPS衛星は都市部や山間部ではビルや樹木などに電波が遮られて可視衛星数が減り、位置情報が安定的に得られないことがありました。2018年11月から、みちびきは4機体制で運用を開始しており、このうち3機はアジア・オセアニア地域の各地点では常時見ることができます。GPS互換であるみちびきは安価に受信機を調達することができるため、地理空間情報を高度に活用した位置情報ビジネスの発展が期待できます。(内閣府みちびき公式サイトより)

